様式３（2020.08改）

作成日　令和2年12月23日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372202032
事業所名	グループホームやまと椿館

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍によって地域との交流が中断する中、継続的に訪問理美容を受け入れ、蔓延状態や利用者の様子などを勘案して、ハーモニカのボランティアの受入れを再開した。 事前のチェック（手指消毒、検温等）や透明カーテンを設置するなど、万全の感染予防策を講じての受入れである。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	通常の運営推進会議は令和2年1月開催が最後となり、令和2年3月以降、5、7、9、11月は書面開催となっている。 毎回、会議メンバーである家族や地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員児童委員等が意見を寄せ、それをまとめて議事録としている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の担当者への報告事項は、ほとんどが電話や書面によって行われている。 市からは、FAXで様々な情報提供がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の面会を条件付きで認めているが、多くの家族は訪問を控えている。。 面会には事前に予約が必要で、マスク着用の上玄関入り口で検温や手指消毒等を行い、1家族2名までが玄関のみで面会可能である。 面会可能な時間帯は10時～16時とし、1回15分を限度としている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

通常の運営推進会議は令和2年1月開催が最後となり、令和2年3月以降、5、7、9、11月は書面開催となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										